

No.188



HPは
こちら

坂東地域アグリ通信



令和3年4月20日
坂東地域農業改良普及センター 発行
Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

「坂東地域加工業務用タマネギ栽培マニュアル」が完成しました

平成29年から栽培に取り組んでいる加工業務用タマネギの安定収量確保に向け、普及センターでは令和元年度から調査研究活動を行っています。これまでの調査から、当地域に適した品種を選定した他、栽培に適した土壌への改良や雑草防除の徹底が栽培のポイントであることがわかりました。実際の作業工程を取りまとめ、令和3年3月に「坂東地域加工業務用タマネギ栽培マニュアル」を作成しました。完成品は3月22日に行われた現地検討会で生産者に配布し、実際にマニュアルを活用しながら、今後必要となる栽培管理等について講習を行いました。

この栽培マニュアルでは上記の項目の他に、機械化体系や、野菜、普通作それぞれのタマネギを導入した経営事例についても紹介しています。加工業務用タマネギ栽培に興味がある方は、ぜひ普及センターまでお問い合わせください。

坂東地域 加工業務用たまねぎ 栽培マニュアル



茨城県農業改良普及センター
坂東地域農業改良普及センター
2021年(令和3年)3月作成



↑ 完成したマニュアル
← 現地検討会の様子
(境地区)

今年度も坂東地域アグリセミナーを開催します！



アグリセミナーは、就農して概ね1～3年目程度の方を対象とした、農業の基礎を学ぶための講座です。講座の内容は、土づくりや病害虫防除・農薬適正使用の講義、先進農家への視察等を予定しています。また新規就農者・若手農業者同士の意見交換の場になるよう進めます。

日程等の詳細が決まりましたら、本通信等でお知らせしますので、興味のある方、身近に新規就農者がいる方は、普及センターにお問い合わせください！

令和2年度アグリセミナーの様子



グループワークの様子



農業機械安全使用講座



展示コーナー（病害虫講座）

ヒメトビウンカのイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率が高くなっています

イネ縞葉枯病とは、病源となるウイルスを保毒したヒメトビウンカが稲を吸汁することによって感染・発病する病気で、一度発病したら治療できず、被害が大きい場合には減収します。イネ縞葉枯病の被害を抑えるためには、ウイルスを保毒したヒメトビウンカの数減らすことが重要です。

管内におけるヒメトビウンカの保毒虫率について（令和3年3月時点）

坂東普及センターでは、管内（古河市、坂東市、五霞町、境町）の水田畦畔等からヒメトビウンカ越冬世代幼虫を採集し、イネ縞葉枯ウイルスの保毒虫率を調査しました。

その結果、6地点中4地点で5%以上※の高い値となりました（表1）。

※農業研究所のマニュアルにおいて、育苗箱施用等による薬剤防除を推奨する値

表1 各調査地点におけるイネ縞葉枯ウイルスの保毒虫率

| 調査地点 | 古河市 | | 坂東市 | | 五霞町 ³⁾ | 境町 ³⁾ | 平均 |
|-----------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|------------------|-----|
| | 総和 ²⁾ | 三和 ³⁾ | 岩井 ²⁾ | 猿島 ³⁾ | | | |
| 保毒虫率(%) ¹⁾ | 5.9 | 5.3 | 2.7 | 5.3 | 12.8 | 4.3 | 6.1 |

1) 簡易ELISAより検定

【古河市(総和地区)及び坂東市(岩井地区)は病害虫防除所調査、その他は普及センター調査】

2) 採集日: 令和3年3月3,4,11日 検定日: 令和3年3月9日 サンプル数: 各地点188頭

3) 採集日: 令和3年3月3,4,11日 検定日: 令和3年3月29日 サンプル数: 各地点94頭

ヒメトビウンカを対象とした薬剤の育苗箱施用を行いましょう

イネ縞葉枯病の多発生を防ぐには、ヒメトビウンカを対象とした薬剤の育苗箱施用が有効です。また、新規系統の育苗箱施用剤であるフルピリミン粒剤（例：リディア箱粒剤）やトリフルメソピリムを含む粒剤（主な商品名：ゼクサロンパディート箱粒剤）は、イネ縞葉枯病に対する防除効果が高いことが確認されています（茨城県農業総合センター農業研究所令和元年度及び令和2年度研究成果）。

前作においてIRACコード4Aの薬剤（イミダクロプリド等、例：アドマイヤーCR箱粒剤）の感受性の低下が疑われた場合は、新規系統育苗箱施用剤を含めた別コードの薬剤を選択しましょう。

※参考資料の作成にあたっては、農薬使用基準に内容について細心の注意を払っていますが、農薬を使用する方は必ず、使用前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください（令和3年3月26日登録確認）。

坂東地域農業改良普及センター 令和3年度 メンバー紹介

センター長 ☆^{くろさわ}黒澤^{まさき}正樹

（☆は新しく赴任した職員）

経営課(広域)

経営課長 ☆^{みやぎ}宮城^{みよこ}海代子

専門員 ^{ささき}佐々木^{ふみお}史生 (担い手)

主任 ^{ひやね}比屋根^{あつし}篤 (六次化)

主任 ^{くめ}久米^{ちおり}千織 (野菜)

会計年度 ☆^{ふるや}古谷^{ちほ}千穂

地域普及第一課(坂東市・境町)

地域普及
第一課長 ☆^{ささき}佐々木^{たかき}哲樹

専門員 ^{のむら}野村^{みちこ}美智子 (野菜)

主任 ^{しのみや}四宮^{かずたか}一隆 (作物)

技師 ^{ふだ}札^{しゅうへい}周平 (野菜)

技師 ^{はやし}林^{かなこ}可奈子 (野菜)

地域普及第二課(古河市・五霞町)

地域普及
第二課長 ^{きむら}木村^{ひろあき}宏明

専門員 ^{はぎわら}萩原^{あい}愛 (野菜)

主任 ☆^{さかい}坂井^{かよこ}佳代子 (作物)

技師 ^{くりはら}栗原^{あんず}杏 (作物・果樹)

技師 ☆^{はたき}畑木^{しゅんすけ}駿祐 (野菜)

5月 土壌診断実施日のお知らせ

5月12日(水)、26日(水)の2回の予定です

- 個人の農家の方が対象です。
- 受け付けは前日まで可能ですが**先着順となります**ので、お早めにお持ちください。電話等での**予約は行っておりません**。
- 1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回の診断日となります。
- **1人あたり5点以内**の持ち込みをお願いします。

編集後記

今年度新規採用職員として坂東地域農業改良普及センターに赴任となりました畑木駿祐と申します。まだわからないことだらけですが、先輩方をはじめ様々な方に支えられて成長していければと思っています。よろしくお願ひいたします。(畑木)